

9. 主に知的障害のある子どもたちの余暇支援

グループ名 青年のつどい“かりんとう”

代表者 竹原 友子

① 活動の目的

- ・主に知的障がいのある子どもたちと地域の青年との交流を図る。
- ・子どもたちが家庭や学校以外の場で、いろいろな人とかかわる経験を増やす。
- ・地域の青年が子どもたちと親しむことで、障がいへの理解を深める。

② 活動概要

- ・「ハッピーホリデー」と名付けた交流イベントを年間4～5回行っています。参加者は、特別支援学校・学級に通う子どもたち（小学1年生～高校3年生）と、地域の青年ボランティア（高校生～概ね30代）とし、年齢が近いからこそ、「世話をする」感覚ではなく「共に遊んで楽しむ」ことを活動のポイントとしています。

<28年度の活動内容>

第1回 6月26日（日） ジャガイモ掘り&バーベキュー

第2回 7月25日（土）26日（日） 宿泊体験

第3回 11月6日（日） ウォーキング

第4回 1月22日（日） ハッピースノーツアー（雪遊び）

- ・助成対象のイベントは、第4回ハッピースノーツアーです。この雪遊びは団体設立以来、毎年続けているイベントで、子どもたちもとても楽しみにしています。

<当日の様子>



貸し切りバスに乗りこみ、
富士山こどもの国へ出発！

車内では、自己紹介をしたり、
ゲームをしたりして、楽しく過
ごしました。



まず、お弁当をいただきます！

たくさん遊べるように、しっかり
食べたら、着替えをして、いよいよ
雪遊びに出発です。

雪の丘でそり滑りをしたり、雪だ
るまを作ったりして遊びます。

そりは1人で滑ったり、お兄さん
お姉さんと一緒に滑ったりして、
繰り返し楽しみました。



富士山こどもの国では、雪遊びの
他にも、動物との触れ合いや散策
も楽しめます。

馬や羊にエサをやったり、乗馬体
験をしたりする子もいました。

富士山もきれいに見えました。

一緒に体を動かしたり、話をし
たりしながら遊び、とても仲良くな
ることができます。





助成をいただいたことで、参加者の費用を軽減することができ、楽しく出掛けることができました。今後も、楽しいイベントを企画しながら、子どもたちと青年ボランティアとの交流を図っていきたいと思います。ありがとうございました。

③ 決算報告書

収 入	大同生命厚生事業団助成金	100,000円
支 出	貸切バス代 磐田～富士山こどもの国 往復 (高速道路代除く)	124,200円
	合 計	124,200円